

第27号

発行日
2021. 3. 20

Super Highway

JR東労組バス関東本部



JR東労組ホームページ

バス開申
第6号

シェアールバス関東本部「2021年度賃金引き上げ等に関する申し入れ」
3/19開催 第2回交渉を行う！②

「定昇確保」「ベア要求」

組合の主張

生活実感について

- ◆雇用と生活を守るのは大前提。超勤や休日出勤の手当で生活設計をしていた現実があり、手当が無くなり基本給だけでは生活が厳しいことがはっきりした。
- ◆年末手当の議論で、雇用が守られても生活が出来なければ意味がないと訴えた。現状は、生活をするため、仕事を続けるためにローンを組んでいる組合員も増えてきている。
- ◆生活費を切り縮めても、学費などの支払いもあり厳しいのが現実。
- ◆55歳以上の減額がある。定期昇給がなければ減額が大きく影響する。
- ◆若い人たちは、定期昇給、年収、手当が魅力となってこの会社に残っていることが大きい。定期昇給がないならば、ここにいる意味があるのかとまで声が出ている。
- ◆ボーナスも減り月々のローンの支払いに困り、住宅ローンを1年猶予してもらっている組合員もいる。大学の学費が支払えずに、子供に申し訳ないが退学してもらおうことを考えている。
- ◆安全を確保しているが、生活の不安を考えてしまい、仕事に影響が出ないか心配の声がある。
- ◆借金しながら定昇を出している会社もある。離職を真剣に考えている人もいる。JR本体とは給与水準が随分と違う。

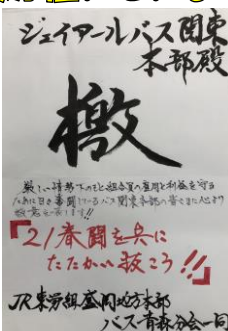
会社の認識

- ・皆さんと同じようにコロナで生活が今まで通りにはいかないと肌で感じている。
- ・賃金の課題は会社としても十分認識している。
- ・無借金経営をしているが、キャッシュが目減りしている。かつてない収支状況である。
- ・雇用を守る前提で、来年度以降にも業務を引き続きお願いしたい。
- ・業務量の回復と共に人材確保は必要である。

要求実現に向けて第2回交渉で改めて訴えました！

- ・定期昇給、ベースアップは人への投資、未来への投資であり、賃金の積み上げが重要だ。求人募集は年収ベースで行っていた。そこにも影響が出る。コロナ禍でも定期昇給を行う会社は、社会的にも社員にとっても信頼出来る会社である。人材に投資をしてもらいたい。
- ・第3四半期決算では超勤等の人件費が約5億円削減し、生活実感に直撃している。ベースを上げないと将来にわたって安定的な生活することが厳しいと改めて認識している。雇用と生活を守ることで人材を守ってもらいたい。
- ・定期昇給の性質上、経験年数で高まった能力はコロナ禍でも変わらない。

バス東北の仲間
からも続々と
檄が届いています



雇用の確保、定期昇給の満額での実施、ベア満額回答で組合員の奮闘に応えるべきだ！
要求実現に向けて、引き続き職場から議論をつくり出そう！